

三重県中学校ソフトテニス大会参加規定

この大会参加規定は三重県内の中学生が参加する県内すべてのソフトテニス大会に適用されるものとする。また、各地区の大会においては、特別に規定を定めることができる。

1. 参加資格

- (1) 選手は、三重県ソフトテニス連盟およびその下部組織の主催大会において(公財)日本ソフトテニス連盟に会員登録をした中学生で、保護者が参加を承諾した者とする。
三重県中学校体育連盟およびその下部組織の主催大会においては、三重県中学校体育連盟の規定に準ずる。
- (2) 団体戦は、男女とも同一チームの選手4名以上8名以内と監督1名で構成する。4名での参加の場合は、3対戦目を原則行わない。
- (3) 個人戦は、男女とも同一チームの選手2名と監督1名で構成する。
部員が1名の時に限り、救済措置として複数校での合同ペアを認める。
ただし同地区内とする。
- (4) 個人情報の取り扱い(利用目的)
大会の主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、取得する個人情報について適正に取り扱う。また、取得した個人情報は、競技大会の資格審査・競技大会運営上必要なプログラム編成および作成・ホームページ・掲示板・報道発表等、その他競技運営および競技に必要な連絡等に利用する。

2. 引率者・監督および外部指導者(コーチ)

- (1) 参加生徒の引率は、出場校・出場チームの責任で行う。ただし、中体連主催大会については、大会要項に記載された通りとする。
- (2) 三重県内の大会および中体連東海大会において外部指導者の大会参加を認める。外部指導者の大会参加については、別紙「外部指導者に関する規定」と「外部指導者登録について」に従うものとし、「外部指導者確認書」により登録された者に限る。ただし、中学校の教員は所属校以外の外部指導者としては認められない。また、複数の学校またはチームでの外部指導者としての申請およびベンチ入りはできない。
- (3) 中学校部活動のベンチ入りできる監督は、原則として出場チームの校長・教職員・部活動指導員または、外部指導者1名とする。地域スポーツ団体については、事前に提出された監督、コーチ1名とする。
- (4) 個人戦において複数ペアが同時に試合にあたっているときは、当該中学校の校長・教職員・部活動指導員または外部指導者(コーチ)がベンチに入ることを認める。ただし、試合途中に交代することはできない。外部指導者(コーチ)がベンチに入るときは、コーチゼッケンまたは名札をつけること。
- (5) 団体戦において、2面に開いて試合を行う場合は両コートの中の中央に位置し、3面に開く場合は真ん中のコートに位置し、アドバイスをする。(ベンチ入りできる監督は1名とする。)
- (6) 日本ソフトテニス連盟発行のソフトテニスハンドブックを熟知していること。
- (7) マッチ中のコーチは、認められている時間内にベンチで行うこと。

3. 服装

【選手】

- (1) 日本ソフトテニス連盟公認メーカーの「ゲームシャツ」、「ゲームポロシャツ」、**JSTA** マークの記載があるものを着用する。
- (2) ウェアに、新たなプリントや加工をしてはいけない。
* ノースリーブ・ワンピース・最初からついているリボン・フリルは可。
- (3) アンダーシャツやスパッツの着用を認める。
ただし色は単色で、模様なども同色のものとする。
- (4) シューズは、テニスシューズを着用すること。靴や靴紐の左右の色違いは不可。
- (5) 鉢巻きには、特別な文言や記号を記入もしくは印刷し、使用してはいけない。
- (6) ゼッケンは、背中に規定のものをつけること。
* 安全ピン使用する際は、四隅に同色のものとする。
- (7) スtringsの縦横の色違いは認めるが、意図的に不要な色の変更はしない。
- (8) アクセサリー、腕時計等の装飾品等を身につけて試合に臨まないこと。
- (9) サポーターやキネシオテープは単色のものを認める。
- (10) 他は、中学生のソフトテニスの大会の服装としてふさわしいものとする。

【監督】（外部指導者も同様）

- (1)ベンチ入りする時には、上下ともスポーツウェアを着用する。
- (2)シューズは、テニスシューズを着用すること。
- (3)ゼッケンは、監督ゼッケンまたは名札をつける。

4. 応援

- (1)団体戦においては、声をそろえての応援を認める。（個人戦においては、禁止する。）
- (2)サーブの構えに入ったら選手が集中できるように静かにする。
- (3)選手の連続的なプレイを妨げるタイミングでの応援を禁止する。
- (4)相手のミスに対しての拍手、ヤジは慎む。自分のチームのポイントに対しての拍手や声援を応援の基本とする。
- (5)ベンチから前へ出での応援を禁止する。
- (6)マナーよく応援すること。

5. 審判（生徒審判とする）

- (1)ジャッジペーパーの記入が正確にできるようにしておくこと。（審判名も記入する）
- (2)正審、副審の判定区分に従い、正しく判定しサインが出せるようにしておくこと。
- (3)正審はポイントごとにカウントのコールを大きな声で必ずすること。
- (4)審判はジャッジペーパーを選手に確認させ、勝者サインをもらう。

6. その他

- (1)ラケットの振動止めの使用を禁止する。
- (2)ベンチへの吸水器・水筒の持ち込みを認める。ただし、直接、缶・瓶類・ペットボトルを持ち込まないようにする（クーラーボックス・ホルダーに入ったペットボトルは認める）。
- (3)水分補給は、ベンチで行うこと。（試合会場によって指示する）
- (4)ベンチに入れるのは登録選手と監督または外部指導者1名のみとする。
- (5)サイドコーチ（コート外からのアドバイス）は固く禁止する。
- (6)大会要項及び競技規則に反した場合、選手並びにチームへの警告は、レフェリー及び本部から発することがある。
- (7)団体戦においてベンチの控え選手（監督およびマッチ中の選手を除く）はフェンスの外で休憩することができる。コートへの出入りについては、他のコートの邪魔にならないよう気を付けること。試合開始および終了の挨拶は全員で行うこと。
- (8)試合中、相手に向かってのガッツポーズや過度のかけ声、審判の判定や相手プレーヤーを惑わせるような発声は慎むこと。
- (9)選手変更について
 - ① 個人戦で、1名が病気等で出場不可能となった場合には、該当校または、該当チームの登録していない選手との変更を認める。
 - ② 学校対抗戦で、構成人数内であれば変更・追加を認める。
 - ③ いずれの場合も、当日の受付時に変更選手の参加承諾書の提出とともに変更を届ける。

- ・ 1996年7月制定・2000年5月改訂・2001年5月改訂
- ・ 2002年5月改訂・2002年12月改訂
- ・ 2006年4月日本ソフトテニス連盟ハンドブック内の文言修正にともなう文言の修正
- ・ 2006年12月改訂
- ・ 2007年12月日本ソフトテニス連盟ハンドブックの訂正にともなう修正および追加
- ・ 2008年12月修正および追加
- ・ 2009年12月修正および追加
- ・ 2013年11月修正および追加
- ・ 2014年12月修正および追加
- ・ 2017年3月修正および追加
- ・ 2018年4月修正および追加
- ・ 2019年4月修正および追加
- ・ 2020年4月修正および追加
- ・ 2021年4月修正および追加
- ・ 2022年4月修正および追加
- ・ 2023年4月修正および追加
- ・ 2024年4月修正および追加
- ・ 2025年4月修正および追加